

宝剣岳中央稜～天候に翻弄された夏休み～

【報告者】F谷

【日時】2017年8月11日

【参加者】F谷、T内 (TeamDiagonal)、E藤 (TeamDaialogal)

《コースタイム》

8月11日

6:30 菅野台バスターミナル - 7:40 ロープウェイ駅 - 8:00 千畳敷カール
- 9:00 乗越浄土 - 9:30 宝剣岳山頂 - 15:00 登攀終了 - 16:10 ロ
ープウェイ駅

《 報 告 》

当初、北アルプスの滝谷を登攀予定であったが、天候予想が難しく、ぎりぎりまで迷って中央アルプスの山域へ。宝剣岳中央稜をトライするのは、積雪期1回、無雪期は2回目である。ロープウェイを利用してアクセスするのでアクセスは容易。日帰りも可能です。

＜移動日＞

8月10日

21時に東京駅の日本橋口集合。東京在住時の山岳会の仲間と落ち合い、一路北アルプスを目指す。天気予報を見ながら移動をするが、天気は悪い。現時点で、登攀可能な山を探し、協議して中央アルプスに山域を決定。

菅の台バスターミナルに車を止めてテントを張り宿泊。

＜1日目＞

8月11日

6時過ぎに起床。起きてテントを出るとバス停の前にはすでに登山者の長蛇の列が出来上がっていた。早々にテントを撤収し、幕営装備を整え出発。当初、天気が回復しそうな翌日にアタックする予定で全装備をもってバス



に乗車する。

ヤマテンをみていると、天気は明日には回復しそうにない。とりあえず、上まで行ってみることにする。

バス終着駅からロープウェイに乗り換え、終点を目指す。ロープウェイの車中から中御所谷を見る。昔登って、すごく怖い思いをしたが、いまなら少しは余裕をもって登れるかなーと考えながら移動。

7:40 ロープウェイの終着駅に到着。天気は、ガスが出ており今一。とりあえず、幕営場所まで移動することとし、乗越浄土を目指して出発。

移動しながら、初めて宝剣岳に登るメンバーにオットセイ岩や取りつき地点などを説明。

9:00 乗越浄土到着。天気が持ちそうなので今日中にアタックを提案。メンバーの同意を得て宝剣岳に移動。山頂はガスで何も見えない。

10:00 懸垂始点をセットして懸垂スタート。

屈曲しているルートのため、注意していたのにもかかわらず、スタックしてしまい、ロープを外すのに苦労する。

当ルートは、下から取り付けるが、高山植物の植生破壊が懸念されることから山頂から懸垂で降りるのが一般的である。山頂から4P懸垂してとりつきに到着。



12:00 取り付きからスタート。

1P E 藤リード。草付きと岩が混じる部分から登り始める。浮石もあり、割と悪い。

2P F 谷リード。登攀中に雨がちらつく。本降りになる前に早く抜けようと話になり、A0を駆使。2Pが終わることには雨も止んで普通に登ればよかったと後悔。懸垂時にスタックしたところの手前でピッチを切る。

3P F 谷リード。積雪期にアブミで抜けるルートを目指し直登しようとするが難しすぎたので無雪期用のルートに回り込み突破。そのまま、オケラクラック

に継続。視界があれば素晴らしいルートなのだが残念。快適なクラックをジャムりながらリード。オケラクラックは優しくて写真映えするルートです。

4P E 藤リード。最初の懸垂支点まで優しめの登り。II級程度。

15:00 登攀終了。懸垂に時間かかりすぎでずいぶん遅くなりました。

オケラクラック



山頂 お約束の岩の上で

<感想>

アルプスでアルパインデビューをするメンバーに良い景色を見せてあげたかったが、ガスがでており非常に残念。

アプローチも短くて良いルートだと思いますので、機会があればぜひチャレンジしてみてください。

